

1 学習指導と評価の改善・充実

(1) はじめに

現行の学習指導要領では、言語の教育としての立場を重視し、国語に対する関心を高め国語を尊重する態度を育てるとともに、豊かな言語感覚を養い、互いの立場や考えを尊重して言葉で伝え合う能力を育成することに重点を置いて、教科「国語」の内容の改善が図られている。特に、文学的な文章の詳細な読解に偏りがちであった指導の在り方を改め、自分の考えをもち、論理的に意見を述べる能力、目的や場面などに応じて適切に表現する能力、目的に応じて的確に読み取る能力、読書に親しむ態度を育てることが重視されている。

このことから、本手引では、各学校において、これらの能力や態度を育成し学習指導要領の目標を十分に達成するための授業の改善が図られるよう、2ページの「(3) 各種調査結果の概要及び共通する成果と課題」で教育課程実施状況調査やPISA調査の結果と概要及びそこから明らかになった成果と課題をまとめるとともに、2ページの「(4) 指導の改善の方向」で、各種調査の結果に基づき、課題を解決するための方向を示した。また、この方向に基づいて指導の改善を検討する際の参考となるよう、学習指導要領の中で関連する事項を示した。

「(3) 各種調査結果の概要及び共通する成果と課題」において、平成15年度教育課程実施状況調査(中学校・国語)の結果の概要を取り上げたのは、この調査の実施対象となった生徒が、現在の高校2年生に当たることから、当該学年生徒が中学生であったときの成果と課題を、高等学校における指導の改善に生かすための資料として用いることが有効であると考えたからである。

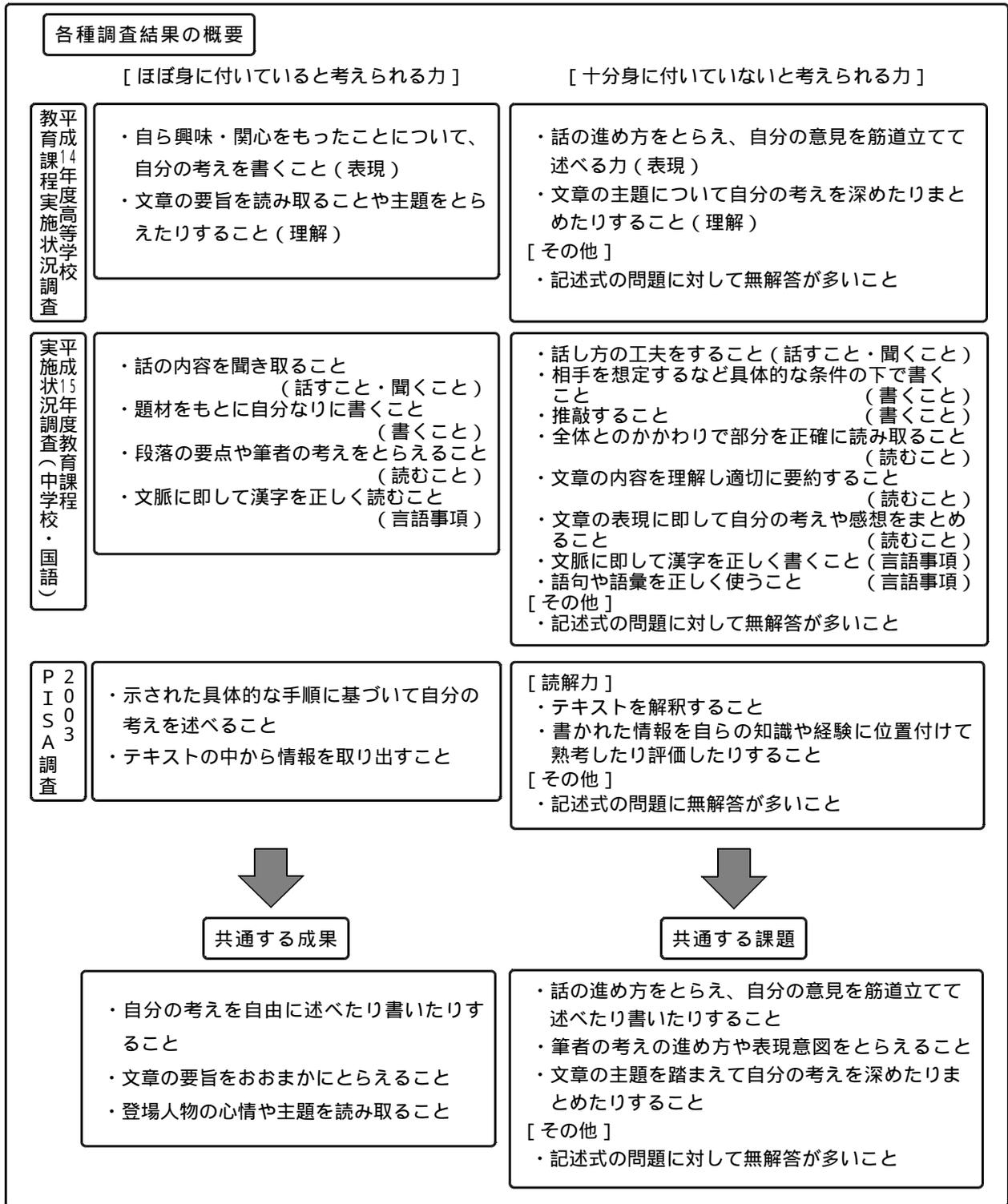
4ページの「2 『確かな学力』を育成する取組の改善・充実」では、各種調査において明らかになった課題を解決するための指導の改善の方向に基づき、思考力・判断力・表現力等を育成する取組として、文章全体の構成や筆者の主張をとらえるとともに、様々な文章を読み比べ、生徒が自分なりの考えを深めることを目標とした「読むこと」の指導例を示した。また、参考として、テーマに対する自分の考えを整理するために使用するワークシートの例も掲載した。

(2) 本手引を読む上で留意が必要な事項

我が国の国語教育等で従来から用いられている「読解力」は、「文章の内容を細部まで読み解く力」という意味合いが強いが、PISA調査における「読解力」は、「自らの目標を達成し、自らの知識と可能性を発達させ、効果的に社会に参加するため、書かれたテキストを理解し、利用し、熟考する能力」と定義付けられており、かなり幅の広い概念である。「読解力」という言葉を用いる場合には、この違いについて注意する必要がある。

本手引においては、PISA調査における定義に基づいて「読解力」という言葉を用いている。

(3) 各種調査結果の概要及び共通する成果と課題



(4) 指導の改善の方向

各学校においては、学習指導要領の目標が十分達成されているか、必要な手だてが講じられているかについて、日ごろの指導の在り方を点検し、改善すべき点を明らかにするとともに、次ページに示した「平成14年度高等学校教育課程実施状況調査の結果を受けた指導の改善」や「PISA調査の結果を受けた『読解力』を高めるための指導の改善」等を参考にして、学習指導要領の目標が一層徹底されるよう、各学校の実態に即して指導の改善を図ることが重要である。

平成14年度高等学校教育課程実施状況調査の結果を受けた指導の改善

論理的思考力、論理的に述べる力を育成する指導の充実

自分の考えを自由に述べたり書いたりすることはできているが、自分の意見を筋道立てて述べたり書いたりすることに課題があるため、例えば、次のような言語活動を取り入れ、論理的に考え、表現する指導を一層充実させること。

- ・話し合い、発表、討論等の言語活動を積極的に経験させる。
- ・文章や話の構成、組立てに目を向けさせる。
- ・自分で考えたことを、根拠を明確にして述べさせる。

学習指導要領で関連する部分
 国語表現
 「内容」ア
 「内容の取扱い」(5)
 国語総合
 「内容」Aア、Bイ、Cイ
 「内容の取扱い」(2)ウ、(3)イ、(4)エ
 現代文
 「内容」ア、オ
 「内容の取扱い」(1)、(4)

表現の仕方に着目したり、考えを深めたりする力を育成する指導の充実

文章の内容をおおまかに理解することはできているが、表現意図を読み取ったり、文章の主題を踏まえて自分の考えをまとめたりすることに課題があるため、例えば、次のような活動を取り入れ、表現の仕方に着目し、それを踏まえて自らの考えを深める指導を一層充実させること。

- ・「何が書いてあるのか」という読みにとどまらず、「どのように書いてあるのか」「なぜこのように書いてあるのか」ということについて考えさせたり、まとめさせたりする。

学習指導要領で関連する部分
 国語総合
 「内容」Bイ、Cア、イ
 「内容の取扱い」(2)ウ、(3)イ、(4)エ
 現代文
 「内容」ア、エ、オ
 「内容の取扱い」(1)、(4)

PISA調査の結果を受けた『読解力』を高めるための指導の改善

テキストを理解・評価しながら読む力を高めること

テキストから情報を取り出すだけでなく、テキストの内容や筆者の意図などを解釈することが必要である。さらに、テキストの内容、形式や表現、信頼性や客観性、引用や数値の正確性、論理的な思考の確かさなどを理解・評価したり、自分の知識や経験と関連付けて建設的に批判したりするような読みを充実すること。

特に、授業の中では、何のためにそのテキストを読むのか、読むことによってどういうことを目指すのかといった目的を明確にした指導が必要である。

学習指導要領で関連する部分
 国語総合
 「内容」Cア、イ、エ
 「内容の取扱い」(4)エ
 現代文
 「内容」ア、ウ、エ、オ
 「内容の取扱い」(1)、(4)

テキストに基づいて自分の考えを書く力を高めること

読解に当たっては、単に読んで理解するだけでなく、テキストを利用して自分の考えを書くことが求められる。テキストの内容を要約・紹介したり、再構成したり、自分の知識や経験と関連付け意味付けたり、自分の意見を書いたり、論じさせたりするなどの機会を設けることが重要である。

特に「自由記述(論述)」に不慣れな生徒には、授業のまとめのときに、自分の考えを簡潔に書かせるなど日常的な授業の工夫が必要である。

学習指導要領で関連する部分
 国語表現
 「内容」ア、イ
 「内容の取扱い」(5)
 国語総合
 「内容」Aア、ウ、Bイ、Cア、エ
 「内容の取扱い」(2)ウ、(3)イ、(4)エ
 現代文
 「内容」ウ、オ
 「内容の取扱い」(1)、(4)

様々な文章や資料を読む機会や、自分の意見を述べたり書いたりする機会を充実すること

読むことについては、朝の読書の推進を含め、読書活動を更に推進することが求められる。その際、文学的文章だけでなく、新聞や科学雑誌などを含め、幅広い範疇の読み物に親しめるよう、ガイダンスを充実することが重要である。

授業の中で、自分の意見を述べたり書いたりする機会を充実することも求められる。その際、自分の経験や心情を叙述するだけでなく、目的や条件を明確にして自分なりの考えを述べたり、論理的・説明的な文章に対する自分なりの意見を書いたりするなどの機会を意図的に作っていくことも大切である。

学習指導要領で関連する部分
 国語表現
 「内容」ア
 「内容の取扱い」(5)
 国語総合
 「内容」Aア、ウ、Bイ、Cア、エ
 「内容の取扱い」(2)ウ、(3)イ、(4)エ
 現代文
 「内容」ウ、オ
 「内容の取扱い」(1)、(4)

2 「確かな学力」を育成する取組の改善・充実

～ 思考力、判断力、表現力等を育成する取組～

(1) 指導と評価の計画の作成

ア 作成上の留意点

- (ア) 身に付けさせたい言語能力を明らかにすること
- (イ) 言語能力を身に付けさせるための指導のねらいを明らかにすること
- (ウ) 「何が書いてあるのか」という読みにとどまらず、「どのように書いてあるのか」、「なぜこのように書いてあるのか」ということについて考えさせたり、まとめさせたりすること
- (エ) 内容を要約したり、再構成したり、自分の知識や経験と関連付け意味付けたり、自分の意見を書いたり、論じさせたりするなどの機会を意図的に作っていくこと

イ 単元における指導と評価の計画表の例

科目名	国語総合		
	単元名	評論を読む〔読むこと〕	
	教材名	「しゃぼん玉は丸い」 安野 光雅	
単元の目標	(1) 様々な文章について、論の展開に注意して筆者の主張を的確に読み取り、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりしようとする態度を身に付ける。(関心・意欲・態度) (2) 文章を読んで、構成を確かめ、書かれた内容や筆者の主張を理解し、自分なりの考えをもつ。(読む能力) (3) 文脈の中での語句の意味、用法を理解する。(知識・理解)		
評価の観点	関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
単元の評価規準	・様々な文章について、叙述に即して内容を的確に読み取り、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりしようとしている。	・文章を読んで、構成を確かめている。 ・様々な文章を読んで、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりしている。	・語句の意味、用法などを理解し、語彙を豊かに身に付けている。
学習活動における具体の評価規準	・説明的な文章を読んで、叙述の意図をとらえようとしたり、人間、社会、自然などに対して自分なりの考えをもとうとしたりしている。	文章の組立てを確かめたり、論の展開を読み取ったりしながら、文章の内容や筆者の主張をとらえている。 様々な文章を読み比べることで、文章の内容や筆者の主張をとらえ、共感、疑問、思索などを通して思考力を高め、自分の考えを深めている。	・語句について、その意味や文脈の中での使われ方を理解している。
評価方法	・行動の観察() ・ノート及びワークシートの記述内容の点検()	・ノート及びワークシートの記述内容の点検() ・討論の観察()	・ノート及びワークシートの記述内容の点検()
配当時間	5時間		

表中「評価方法」の は、単元の評価の総括の資料(「記録に残す評価」とする。 は、単元の評価の総括の資料とせず、「随時・適宜の評価」とする。

(2) 指導と評価の実際

ア 各時間の指導と評価の計画

時	各時間の目標	学 習 活 動	学習活動における 具体の評価規準	評価方法等
1	・ 語句の意味を確認しながら、文章の内容をとらえる。	・ 単元で学習する内容を確認する。 ・ 各章をいくつかの段落に区切り、段落ごとの要旨をまとめる。 ・ 語句の意味を、文脈に即して確認する。	「関心・意欲・態度」 「知識・理解」	・ 活動状況の観察 ・ 机間指導によりノートの記述状況の点検 ・ 授業後に提出されたノートの記述内容の点検
2	・ 文章の組立てを確かめながら論の展開を読み取り、筆者の主張をとらえる。	・ 各章の要旨をまとめる。 ・ 筆者の主張をとらえる。 ・ 効果的な例示等について分析する。	「読む能力」	・ 活動状況の観察 ・ 机間指導によりノートの記述状況の点検 ・ 授業後に提出されたノートの記述内容の点検
3	・ 文章を読み取って理解した内容について話し、自分の考えをもつ。	・ 筆者の主張や文章の内容について、共感したり疑問を感じたりした点などを整理する。 ・ 4～5人のグループで話し合いを行い、話し合いをとおして自分の考えをまとめる。 【言語活動】 筆者の主張や文章の内容について自分の考えをもち、話し合う。 ・ 各グループから話し合い内容を発表する。	「関心・意欲・態度」	・ 活動状況の観察 ・ 机間指導により話し合い用ワークシートの記述状況の点検 ・ 授業後に提出された話し合い用ワークシートの記述内容の点検
4	・ 前時までの学習活動を参考にして、他の文章を読み、その主張をとらえる。	・ 内山節氏の『自然と人間の関係をとらえて考える』を読む。 ・ 前時までの学習活動を参考にして、各自でこの文章の内容を把握し、筆者の主張をとらえる。 【言語活動】 考えを広げるため、様々な現代の文章を読み比べる。		
5	・ 2つの文章を読み比べ、テーマについての自分の考えを一層深める。	・ 2つの文章の論の展開と筆者の主張を確認する。 ・ 「自然」と「人間」の関係について、自分の考えをまとめる。 ・ 自分の考えを発表する。	「読む能力」 「関心・意欲・態度」	・ 活動状況の観察 ・ 机間指導によりワークシートの記述状況の点検 ・ 授業後に提出されたワークシートの記述内容の点検

「関心・意欲・態度」は、その持続や変化の様子を特定の時間だけでなく、単元全体を通して継続的にみていくことも大切である。

イ 各時間の指導と評価の実際

第〔2〕時の目標	文章の組立てを確かめながら論の展開を読み取り、筆者の主張をとらえる。	
本時の評価の観点及び評価規準	「読む能力」 文章の組立てを確かめたり、論の展開を読み取ったりしながら、文章の内容や筆者の主張をとらえている。	
学習活動	指導上の留意点	評価の実際
<div data-bbox="245 577 467 696" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">各章の要旨をまとめる</div> <ul style="list-style-type: none"> ・段落ごとの要旨を参考にして、ノートに各章の要旨をまとめる。 <div data-bbox="245 1084 467 1202" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">筆者の主張をとらえる</div> <ul style="list-style-type: none"> ・論の展開や本文全体の構成を把握して、全体における筆者の主張をとらえる。 <div data-bbox="245 1590 467 1709" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">効果的な例示等について分析する</div> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な事象、例えばしゃぼん玉や雪、道具などによって、どのようなこと述べようとしたのかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各段落の働きを確かめたり、段落相互の関係を考えたりしながら、筆者の思考の筋道や論理の展開をたどり、要点を簡潔にまとめていくよう助言する。 ・おおむねできた段階で、クラス全員で確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・各章の要旨を参考にして本文全体の構成を把握した上で、筆者の主張が何であるかを考えさせ、ワークシートにまとめる。 ・おおむねできた段階で、クラス全員で筆者の主張を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・身近な事象の分析については「随時・適宜の評価」とし、単元の評価の総括のための資料としない。 	<p>「読む能力」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の組立てや段落相互の関係を理解して各章の内容をとらえているかを、机間指導をしながらノートの記述を点検し評価する。 <div data-bbox="873 882 1409 1046" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【評価Cの生徒への指導の手だて】</p> <p>各章の要旨をまとめられない生徒には、筆者の考えを述べている段落と例示を述べている段落を分けて考えるよう助言する。</p> </div> <p>「読む能力」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論の展開や本文全体の構成を把握して筆者の主張をとらえているかを、机間指導をしながらワークシートの記述を点検し評価する。 <div data-bbox="873 1382 1409 1545" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【評価Cの生徒への指導の手だて】</p> <p>筆者の主張をとらえられない生徒には、章ごとに繰り返し出てくる語句を指摘させ、それをもとに筆者の主張を考えるよう助言する。</p> </div> <div data-bbox="873 1731 1409 1895" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【評価Cの生徒への指導の手だて】</p> <p>身近な事象の例示による効果について理解できない生徒には、その事象によって何を説明しようとしているのかを考えるよう助言する。</p> </div>

「ワークシート」は、p 8【参考資料】に掲載

第〔5〕時の目標	2つの文章を読み比べ、テーマについての自分の考えを一層深める。	
本時の評価の観点及び評価規準	<p>「読む能力」</p> <p>様々な文章を読み比べることで、文章の内容や筆者の主張をとらえ、共感、疑問、思索などを通して思考力を高め、自分なりの考えを深めている。</p>	
学習活動	指導上の留意点	評価の実際
<div data-bbox="248 539 467 701" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>2つの文章の論の展開と筆者の主張を確認する。</p> </div> <p>・【言語活動】</p> <p>考えを広げるため、様々な現代の文章を読み比べる。</p> <div data-bbox="248 1099 467 1301" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「自然」と「人間」の関係について、自分の考えをまとめる。</p> </div> <p>・2つの文章を参考にして、ワークシートに自分の考えをまとめる。</p> <div data-bbox="248 1700 467 1821" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自分の考えを発表する。</p> </div> <p>・他の生徒の発表内容を聞いて、自分の考えと比較してみる。</p>	<p>・内山氏の文章についての理解を助けるため、指導者が補足的に説明する。</p> <p>・安野氏と内山氏の主張の共通点と相違点を考えさせながら、内山氏の主張をワークシートにまとめさせる。</p> <p>・2つの文章から読み取れる「人間への警鐘」の内容を十分に踏まえつつも、自分の言葉を用いてまとめるよう助言する。</p> <p>・机間指導の際に、自分の考えをうまくまとめている生徒を確認しておく。</p> <p>・自分の考えとの相違について意識しながら聞くよう助言する。</p>	<p>「読む能力」</p> <p>・様々な文章を読み比べて、主張の相違点を理解することができたかを、机間指導をしながらワークシートの記述を点検し評価する。</p> <div data-bbox="879 898 1410 1059" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【評価Cの生徒への指導の手だて】</p> <p>内山氏の主張を読み取れない生徒には、前時にまとめた内山氏の文章の内容を参考にするよう助言する。</p> </div> <p>「読む能力」</p> <p>・様々な文章をもとに、自分の考えを深めていくことができたかを、ワークシートの記述を点検することで評価する。</p> <div data-bbox="879 1491 1410 1653" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【評価Cの生徒への指導の手だて】</p> <p>自分の考えがうまく書けない生徒には、3時間目にどのような討議をしたかを思い出しながら、自分の考えを記述するよう助言する。</p> </div>

「ワークシート」は、p8【参考資料】に掲載

ワークシート「しゃぼん玉は丸い」 ～ 自然と人間とのかわりについて考えよう ～

一年 組 番 氏名

一 「しゃぼん玉は丸い」

【自然は…】

- すごい力（神様）
- 自然のきまり
- 自然の法則（物理法則）
- 不思議なきまり（幾何学）
- 大自然の計り知れない力

【人間は…】

「すごい力」を手に入れたい

道具

物を作る
人間が人間である証拠
「地球は世界でいちばん強い人間さまのためのもの」

自然の計り知れない力に背いた形はこの世に残っていない

「ともでもない空想」
地球が人間のためにある
人間が減びる理由？

「安野氏の主張」

自然の「すごい力」を自分の物にしようと思った人間は、道具と空想により、物を作ることができるようになった。しかし、「地球が人間のためにある」というとんでもない空想をしたことが、人間が減びる理由になるかも知れない。なぜなら、自然の計り知れない力に背いた形は、いま一つこの世に残っていないからである。

二 「自然と人間の関係をとおして考える」

【自然は…】

- 人間との関係
- 利用 生命力を高める
- 改造 自然を傷める
- 自然
- 永遠の循環、過去を継承しつづける時間を必要としている

【人間は…】

- 自然との関係
- 地域の伝統的な方法による自然への働きかけ
- 「技と知恵」
- 近代技術による自然の改造
- 近代社会
- 時間は進歩とともにある

近代社会の価値観と自然の対立
進歩と後退の間に存在する価値判断
時間をめぐる自然と人間の間の不調和

「内山氏の主張」

人間が自然を維持していくためのポイントは、自然保護の主体が地域主権であること、自然を守る方法は地域の技と知恵の中にあることである。しかし、自然荒廃の奥底には、自然と人間の間の時間をめぐる不調和の問題が生じており、自然の時間を保証できる人間の営みを再創造しないかぎり、この問題は解決しない。

三 自分の考え

【安野氏の主張に対する考え】

- 自然
- 神秘的なまでの自然の力に対し、畏敬の念すら覚えるほどである
- 自然の法則性は偶然ではないか
- 人間
- 人間も自然の一部なのだということを謙虚に受け止める必要がある
- 自然との共存を考え物を作っていく

【内村氏の主張に対する考え】

- 自然
- 近代社会の価値観では、科学技術を駆使して自然を守ろうとしているのではない
- 人間
- 時間は進歩とともにあると考えた上で自然と共存するという進歩の形を模索することはできないか

「私の主張」

人間も自然の一部であり、自然破壊は人間の滅亡につながることは間違いない。だが、人間が滅亡しても、自然はなくなるどころか大いに繁栄するのではない。人間は、先人の知恵に学びながら、自然の特性を十分踏まえた上で、科学技術を駆使して自然と共存するべきである。例えば、森林伐採は自然体系を守るための最小限にとどめ、工業製品として必要な木材は、専用の森林センターで育てたり、科学的に疑似木材を開発して代用するなどの方法はとれないだろうか。

【評価】

B	B	A
---	---	---

【評価】欄の右側は、生徒の自己評価。できていれば をつけ、できていなければ空欄とし、できた時点で をつける。左側は、教師の評価欄。[A](よく理解できている)・[B](おおむね理解できている)・[C](理解できていない)で記入する。